

# 新常態へ産学官始動

**山形大・独ドレステン工科大など 小型有機近赤外線センサー開発**

山形大らが提案していた研究課題が科学技術振興機構（JST）の戦略的国際共同研究プログラム（SYNERGY）に採択された。研究期間は3年間。日本側は山形大と伊藤電子工業（山形県寒河江市）、独側はドレステン工科大とベンチャー企業のゼノックスによる4者がタッグを組む。

日本とドイツ双方の産学が強みを持つ分野で革新的な開発を進める。従来のセンサーに比べ大幅に小型・軽量化を狙う。日本側は有機近赤外線光源の実現、独側は近赤外線センサーをそれぞれ開発し、両技術を組み合わせるシステム化を目指す。日本側の研究委託費は3年間の総額で最大約5400万円を支援する。独側はドイツ連邦教育研究省（BMBWF）が支援する。



JST戦略的国際共同研究プログラムについて説明する山形大の城戸教授と佐野教授

コロナ禍、東北では国際的な視野で、新たな産学官連携の動きも始まっている。山形大学はドイツのドレステン工科大などとオプティクス・フォトニクス分野での共同研究を進める。課題は「小型有機近赤外線・分光センサーシステムの開発」。日独側の企業も加わり研究を進める。一方、東北大学は日本貿易振興機構（JETRO）と組んで国際的な共同研究支援などを多面的に取り組み体制を構築しつつある。

**東北大・ジェトロ 国際共同研究・技術移転を支援**

機エレクトロニクス技術を用いて、現状大型の測定装置を、究極にはフィルム状の小型センサーにするという。同センサー長の佐野健志教授は「チャレンジングな研究になる」としている。

一方、東北大は本年度から設置した共創戦略センターに「ジェトロ・イノベーションデスク」を6月に開設した。東北大とジェトロ双方のグローバルネットワークを活用し、国際的な共同研究や技術移転、大学発スタートアップ企業などの海外進出を支える狙い。

2017年に東北大とジェトロが交わした包括的連携推進協定の一環、ジェトロ・イノベーションデスクでは、海外企業・大学の共同研究や技術移転などの協業促進、海外企業・大学の誘致、外資系企業との交流促進などの活動に取り組む。そのために東北経済産業局、宮城県や仙台市、地元経済界などとの連携も進める方針だ。

## コロナ禍でのチャレンジ

### 加藤鉄工



加藤利夫社長

SDGs 17目標意識し取り組み

SDGs 17目標意識し取り組み

断は許さないものの、延の影響で受注が先延ばしになるなど、経済の停滞は深刻だ。社員

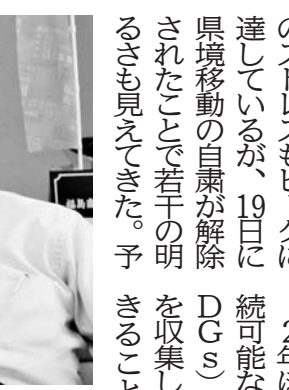
2年ほど前から、持続可能な開発目標（SDGs）について資料を収集し、我々にもできることを考えてきた。一昨年の西日本豪雨

や、昨年福島県内を襲った台風19号による水害など、近年の気候変動や環境問題

は看過できない状況にきて

（福島市）

### 三引興業



三河謙社長

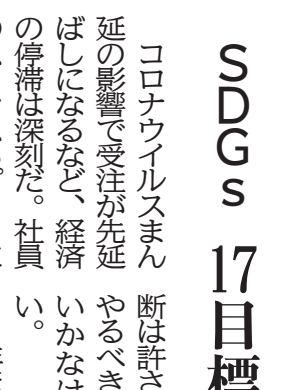
テレビ会議 測定現場・顧客つなぐ

金属や非金属の開度や公平性などの顧客ニーズに応えた。恒温室を設けて、独自製の3次元測定機を導入した。測定範囲は幅800mm×奥行1000mm×高さ580mm。0.4μm以下の保証精度で大型部品や治具の高精度測定が可能だ。

高価な設備投資や稼働率の低さが負担の大きい中小企業にアウトソーシング

営業所の開設も視野に中部地域で自動車部品などの受注拡大を狙う。ウイズコロナの時代を迎えて、顧客と測定現場をテレビ会議でつないだ測定センターの見学も始めた。顧客の経費削減にもつながり好評だ。（仙台市）

### タリンシ機工



鳥井光彦社長

人材育成 SIの仕組み現場で学ぶ

少子高齢化、人口減少に悩む東北で工場自動化、省人化は必須だ。そうした状況下で機械商社としての立ち位置をしっかりと確認していかたい。成長のカギは人材育成にあると考えている。

対面して最適解を示し、方針が決められればシステムインテグレーション（SI）の専門業者につなぐ。中間業者の役割を果たすべく、得意先の生産性向上

上、職場環境改善に貢献していく。ウイズコロナ、アフターコロナの世界は、産業界も変化せざるを得ない。4月以降、将来への布石として2人を新規採用した。わが社は商社ながら製造工場を持つというのが強みで、SIの仕組みを現場で学ぶこともできる。ただ行政にもこうした人材の教育、育成に対する支援を充実してもらえたらありがたい。（秋田市）

## 東北産業特集

**鋼脆性材・難削材・微細・精密加工の事ならお任せください！**

**青山精工3つの柱 製造部 セラミックス事業部 開発部 (3Dプリンタ)**

【主要設備】  
 ・5軸制御マシニングセンタ  
 ・NC複合旋盤  
 ・ウォータージェット加工機  
 ・超音波ロータリー加工機

骨のカバ一連結式(チタン材) カム加工 ルツボ加工 WJ加工(φ300×L180) 3Dプリンタ クリエイティブコンテスト「特別賞受賞作品」

**株式会社青山精工** [本社] 〒018-5337 秋田県鹿角市十和田末広字紀ノ国平42 TEL 0186-35-3350 FAX 0186-35-4887 [神奈川営業所] 〒229-0015 神奈川県相模原市南区下溝1998-7 TEL 042-777-8277

詳しくはホームページ・YouTubeにて URL/http://www.aoyama-pi.co.jp

世界基準の品質

**OHTAKEの自動ネジ供給機**

世界40ヶ国以上で愛用される信頼のJapan Quality

OHTAKEの自動ネジ供給機は、水平直進フィーダーを採用した、ネジまりの起きにくい自動ネジ供給機です。幅広い材質・形状のネジに対応するほか、多様な使用スタイルや本体サイズをサポート。対応ネジ径M0.5～M10.0独自の機構と高い技術力で御社の生産ラインの効率化を実現します。

**OHTAKE 株式会社 大武・ルート工業**

営業本部：〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-9-10 TEL 022-281-8481  
 本社：〒021-0902 岩手県一関市秋田字金ヶ崎27 TEL 0191-24-3144  
 http://www.ohtake-root.co.jp/ 設計相談受付中。お気軽にご相談ください。

天然ゼオライト（モルデナイト）の採掘加工及びゼオライトの応用製品の製造販売、ペット用品の製造販売

**新東北化学工業株式会社**

代表取締役社長 松本 浩

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目4番10号 住建上杉ビル6F  
 TEL: 022-225-2724 FAX: 022-225-2725 http://www.s-zeolite.com/

電池の試作から評価まで 幅広いニーズに応えてトータルサポートします！

～主要製品・サービス～

1. 充放電評価装置
2. 電池試作装置
3. 電池パック
4. 受託評価
  - ・充放電評価試験
  - ・安全性評価試験
  - ・分析評価

ニースに合わせたカスタムメイド製品の設計製作や評価試験を行います。電池に関する事ならお任せください！

**東洋システム株式会社 TOYO SYSTEM CO.,LTD.**

本社：福島県いわき市常磐西郷町銭田106-1 TEL: 0246-72-2151 FAX: 0246-72-2152 e-mail: sales@toyo-system.co.jp http://www.toyo-system.co.jp/

**それは、美しいプロダクト**

錆びることのない精神と技こそハネダプロダクト。ニーズに応える製造環境と併せて日本のトップブランドを目指します。

**Factory1 (第一工場)**

- 大型鋼構造物、重量製缶などの生産可能なスペースと設備
- 10t (2.8t親子) ×2基完備

**Factory2 (第二工場)**

- 鉄とステンレスの完全分離(ステンレスのための専用工場)
- 医薬品、食品・飲料品関連業界の厳しい要求事項にも対応
- 製作・研磨・洗浄まで一環した生産体制

＝ 営業品目 ＝

- 製缶…各種タンク、サイロ、ホッパー 他
- 産業機械…各種乾燥機、各種コンベア、集塵機 他
- 土木工事関連…仮設金物、補強金物、水門扉 他

**株式会社 羽田工業所** 〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字下川原167-14 TEL 024-944-1238 FAX 024-944-1277 URL http://www.haneda-kogyosho.co.jp

代表取締役 黒田 美和子

**ダイカストの夢一筋に**

岩機ダイカスト工業株式会社は、創業からまもなく半世紀を迎えます。よりよい製品をより安くお客様にご提供するために、ダイカストの技術を追い求めてきました。これからも、ダイカストの専門メーカーとしてお客様に満足頂ける製品をご提供すべく、技術力と人間性の向上を目指し、「夢」を持って取り組んで参ります。

**岩機ダイカスト工業株式会社**

〒989-2204 宮城県亘理郡山元町町定字山崎51-2 TEL 0223-37-3322 Fax 0223-37-3720

アルミダイカスト製品製造/超高速精密鋳造ダイカスト製品製造 亜鉛ダイカスト製品製造/金属粉末射出成型製品製造(MIM) スイスダイカスト製品製造

http://www.iwakid.co.jp

震災復興のための復旧工事をはじめ、新たなインフラ構築など、人々の日々の暮らしに深く関わる数々の仕事から、地域社会の基盤を支えるお手伝いをしています。

**丸伊石材工業株式会社**

〒986-0102 宮城県石巻市成田字石山1-1 TEL 0225-62-2708 FAX 0225-62-2785 URL http://marui-s.co.jp/

石に込める意思。 Our will with Stone.